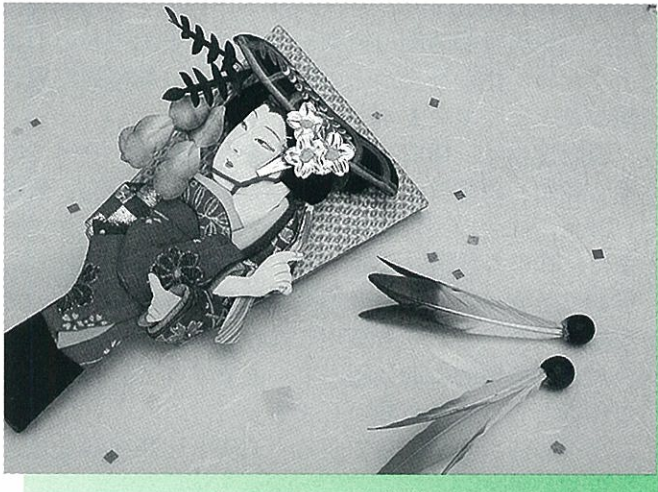


 やまぐち県労福協

■発行所／(社)富山県労働者福祉事業協会 〒930-0857 富山市奥田新町8番1号 TEL076-431-0539 FAX076-431-0510 ■発行責任者／宮本久雄・編集者／青木真佐美



「共生と助け合い」
「ぬくもりのある」社会をめざして

社団法人富山県労働者福祉事業協会
理事長 森本富志雄



新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、労福協はじめ北陸労金、全労済、県生協、勤信協、ボルファートとやま、ゆ〜とりあ越中、北モータープールなど労働福祉事業の前進・発展に対しご利用ご協力いただいておりますことを心より御礼を申し上げます。

特に、勤労者の暮らしサポート事業や社会的運動課題の実現や労福協センターのボルファート会館事業強

化に向けて、多くの皆様方から積極的なご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

今、勤労者をめぐる環境は、市場経済至上主義やそれに伴う競争万能の流れが強まる中で、暮らしは危機的な状況にあるといっても過言ではありません。年金や医療などの社会保障制度が揺らぎ、不安定な雇用構造のもとで先の見えない不安が広がり、勤労者の生涯生活設計は見直しが迫られています。

労働規制の緩和により雇用への置き換えが進み、今や、3人に1人（女性は半数）が非正規雇用で、正社員も長時間労働による過労やメンタルヘルス不調であえいでいます。企業とごく一握りの人に富が集中する一方で、「ワーキングプア」など「働いても働いても」苦しい生活しかできない貧困層が拡大しています。

こうした格差社会や「貧困」の現実を直視し、社会の不条理に立ち向かわなければなりません。むきだしの競争社会、弱肉強食では人は生きていけません。人としての尊厳が保障され、「共生と助け合い」の原理が活かされる社会、ぬくもりのある社会、ゆとりと豊かさを実感するには、ワーク・ライフ・バランスの実現が不可欠であります。

北陸労金、全労済、連合、労福協が協力して「地域勤労者の暮らしにかかるサポート事業」を展開する「富山県ライフサポートセンター」を設立しました。

各地域を拠点に高齢者・退職者団体連合や福祉事業団体とも連携しながら、暮らしの中のさまざまな相談活動はじめ地域のネットワークづくり等に取り組んでまいります。

一昨年以來、先輩から受け継いだ財産であり労働福祉事業の象徴である会館事業の強化に向け大変なご理解を賜っています。

今後とも一層のご協力をお願い申し上げます。

今年もよろしくお願い致します

[illegible]

安心して働ける社会、 信頼しあえる社会に向け、 与野党逆転を

日本労働組合総連合会富山県連合会

会長 森本富志雄



新年あけましておめでとうございます。

新春を穏やかな中にご家族とともに迎えられ、心から喜び申し上げます。

昨年は、「失われた年金」の問題が発覚しさらに、食品の偽装や品質問題が一年を通して大きな社会問題となるなど、生活者の安心・安全が脅かされた一年でありました。

働く者の生活は、「いざなぎ景気」をはるかに超える景気拡大といわれ、企業業績は改善していますが、一方では、少子高齢化が進む中で、人口減少時代となり、年金・医療・介護などの社会保障は給付削減・負担増となり、定率減税も昨年から全廃されるなど、可処分所得は年々低下しています。さらに原油・原材料の高騰がガソリン、灯油をはじめとする燃料や石油製品に加えて小麦、大豆も値上がりするなど、生活関連

製品の負担が増加し生活面ではますます厳しくなっています。また、非正規雇用の増加もあり、ワーキングプアの言葉に象徴されるように、働いても働いても苦しい生活しかできない層が拡大し、格差の拡大が大きな社会問題となってきています。

連合は、08年春季生活闘争において、賃金の底上げを始め、是正を含む賃金改善、非正規労働者の処遇改善や正社員化、また、ワークライフバランスの実現に向けて総実労働時間の短縮や時間外労働割増率の引き上げなど、格差社会からの脱却のために積極的に取り組むこととしています。

連合富山は、構成組織の協力を得ながら、すべての働く者が、将来にわたって安心して働ける社会、信頼しあえる社会の実現に向けて全力を挙げていきます。また、昨年の参議院選挙における与野党逆転に続いて、早期に予測される次の衆議院の解散・総選挙において政権交代を何としても実現しなければなりません。そのために積極的に取り組んでいきますので、皆様のご理解とご支援をお願いします。

今年が皆さんにとって明るく充実した年になることを祈念します。

人が輝く「元気とやま」の 創造をめざして

富山県知事

石井 隆一



明けましておめでとうございます。西暦2008年の初春を県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

労働福祉事業団体の皆様方には、日頃から労働者の福祉充実や生活向上のため、幅広い事業活動を積極的に展開されており、深く敬意を表します。

平成16年11月、知事に就任して以来、3年余りが経過いたしました。この間、私は、「オープンでわかりやすい」、「スピード重視」、「現場重視」など五つの基本姿勢に立って県政運営を進めるとともに、県民の皆様のご意見をできる限り施策に反映するよう努力してまいりました。

また、昨年4月、本県をとりまく諸情勢の変化に適切に対応するため、平成27年度を目標年次とする新しい総合計画「元気とやま創造計画」を策定し、「活力」、「未来」、「安心」の3つを柱に、21世紀における本県の新たな未来を切り拓く諸施策の推進に積極的かつ戦略的に取り組んでまいりました。

まず、県民の悲願である北陸新幹線につきましては、遅くとも平成26年度末までの金沢までの開業に向けて、

建設工事や富山駅付近の連続立体交差事業が順調に進んでおります。

また、子育て支援については、放課後児童クラブや「とやまっ子さんさん広場」など子どもの居場所づくりが進むとともに、「とやま子育て応援団」制度では協賛店が2000店舗を超えるなど、県民みんなで子育てしようという気運が高まってきました。

今後とも、勤勉で進取の気性に富む県民性、ものづくりの伝統、豊富な水や廉価な電力、さらには豊かで美しい自然や多彩な文化など富山県の優れた特色を活かして、経済産業の活性化、子育て支援、福祉・医療の充実など重要課題に積極的に取り組み、人が輝く「元気とやま」の創造をめざし、努力してまいります。

新年にあたり、県政に対するご理解とご協力をお願い申し上げますとともに労働福祉事業団体の限りないご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



ろうきんは勤労者の 「ライフライン」

北陸労働金庫

富山県本部長 金戸 範久



新年あけましておめでとうございます。皆様には、穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、ろうきんにご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

米国のサブプライムローン問題を発端とする金融不安は今後どこまで影響が広がるのかまだ先の見えない状況であり、加えて経済情勢は、原油の高騰による多くの商品が値上げするという勤労者にとって明るい兆しが見えないなかで格差がより以上に拡大していくような印象を与える年明けを迎えました。

このようななかで、ろうきんは勤労者に密着し、社会的役割を果たすため「家計の見直し」「ローンの見直し」を勧め、さらには「多重債務問題」の予防・啓発活動、多重債務者への救済と再発防止の運動を取り組んで「勤労者の生活を守り、支える」生活応援運動を展開しています。

また、一方では、今年新たな金融サービスとしてイ

ンタネット北陸支店を設置（3月頃予定）し、インターネット（会員・個人とも利用手数料は無料）での取引の機能拡充を図ります。今までの普通預金の残高照会や振替、振込みに加え、インターネットで定期預金、エース預金などの入金、出金ができ営業店へ出向かなくても資金移動ができるという大変便利な金融サービスを提供できます。

このことを含めて、「ろうきんのメリット10」を会員、勤労者にお知らせしながら、ろうきんは勤労者の「ライフライン」になるよう、いや「ライフライン」であるよう役職員一同が一丸となって努力していきます。

関係団体・組合員の皆様には、更なるご支援・ご協力を重ねてお願いいたします。

皆様とご家族のご健康を心からお祈りいたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



「たすけあい、未来に つないぐNEXT50」

全労済富山県本部

理事長 三辺 進



新年明けましておめでとうございます。

協力団体・組合員の皆様には全労済の事業に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年、全労済富山県本部は、おかげさまで50周年を迎えております。

1958年（昭和33年）1月25日創立総会

1958年（昭和33年）5月14日法人認可

みなさんに創っていただいて、育てていただいて、そして支えていただいて50年、保障の生協として労働運動の一環として、福祉活動の一分野として働くみなさんの助け合いとして設立した全労済の50年。今県民に対する共済の浸透度は全労済の中では全国一位の素晴らしい成績であります。

記念すべき50周年で今年度内において、これまでの「感謝の表明」と全労済らしい協同組合の「価値の創造」、「助け合いの輪の拡大」を基本として記念事業を展開しております。

特に全労済の助け合いの理念、価値を次代につなげることを基本に未来を築く子供達と家族にスポットを当てた行事を展開いたしております。又、この機に事業の拡大について、これまでにない大きな目標をたてて、推進をはかっていく所存でありますれば是非ともご協力をお願いいたします。

さらに感謝の表明とこれからの決意の発信をするために5月14日（法人認可の日）に記念式典を開催したいと思っております。

そして、次の100年に向けて組合員から信頼され選ばれる全労済であるために、たゆまぬ努力をしていく所存であります。

今年も「こくみん共済」「火災共済と自然災害共済」「マイカー共済」等を中心に一層のご愛顧をお願いいたします。

さらに、介護サービス事業、「越中庄川荘」の施設事業についても御利用をお願いいたします。

皆様とご家族のご健康を心からお祈りいたしまして新年のあいさついたします。



「くらし」と「地域社会」へ お役立ちする富山県生協

富山県生活協同組合

理事長 松浦 均



新年明けましておめでとうございます。

2008年度の新春をご家族揃ってご健勝でお迎えになったこと心よりお慶び申し上げます。

去年は、第48回通常総代会において「生協の輪を広げ、食の安心、くらしの安心を笑顔で作ろう」のスローガンの下、食とくらしの安心づくりを進めていくことをご承認いただき、組合員の視点に立った取り組みを一步、前進することができました。

6月には生協商品の試食見本展示会を魚津市、砺波市の2会場で開催し、約2,150名の組合員の方々と全国からお集まりいただいたお取引先との商品を通しての交流を図り、また10月には「けんせいきょう祭り2007」を富山県・富山市のご協力をいただきながら富山産業展示館(富山テクノホール)で開催し、約37,000名の多くの組合員・県民の皆さんのご来場をいただき、富山県生協の事業活動をより身近に感じていただけたものと思っています。

くらしをめぐる情勢は、エネルギー・食糧問題をめぐり、原材料の高騰で商品価格が相次ぎ値上げとなり、また偽装表示問題を受けて、食の安心・安全を担保していく社会的仕組みづくりが進み、すばやい対応が求められています。急激にすすむ少子高齢化と人口の減少、所得格差の拡大、年金・福祉をはじめとする社会保障制度の行き詰まりなど、将来への不安が広くくらしを覆っています。

富山県生協では、協同の力で心豊かなくらしと共生社会づくりの実現を図るべく、組合員の皆さまのふだんのくらしにもっと役立つ事業の展開に努めてまいります。また地域社会の一員として食の安心・安全の推進や地域福祉づくり、子育て支援・地球温暖化防止自主基準に基づくCO₂削減・男女共同参画の推進に求められる地域社会に貢献できるよう、今年度も組合員・役職員が協力し富山県内の生協運動の発展のため、努力していく所存です。

本年も皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げ、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

働く人たちが手軽に融資を 受けられ勤労者の総合福祉を 支えるみんなの保証協会

勤富山県勤労者信用基金協会

理事長 山本 敏夫



新年あけましておめでとうございます。2008年の新春をご家族ともどもご健勝に迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、平日頃より勤信協の事業活動に対し、深いご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

おかげをもちまして、設立「1972(昭和47)年7月29日」以来の保証累計は、101,751件、2,193億6,205万円に及んでおり、多くの勤労者に利用されておりますことは、勤労者の福祉向上に一定の役割を果たすことが出来たものと考えております。

政府・日銀の10月月例経済報告では、生産を上方修正した半面、個人消費と住宅建設を下方修正した。景気の先行きは、米国の信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題の影響が懸念されるものの、2002年2月から続く景気拡大局面は今も続いているとの判断を示した。

しかし、サブプライムローンに端を発した株価の大幅下落、原油価格の高騰と諸物価の引き上げ等、勤労者を取り巻く環境は大変厳しい状況に追い込まれております。

富山県勤信協はこの1年、能登半島地震による被災者への災害支援、出産・子育て支援、特別教育ローンなどへの融資に対し特別保証料を設定、勤労者の生活支援に迅速に取り組んでまいりました。

今年も引き続き勤労者を取り巻く環境は厳しいものがあろうかと思われませんが、いまこそ保証協会の代位弁済能力や財務内容の健全性を一段と高め、勤労者の生活総合福祉の向上に向けて、勤労者が安心して利用できる勤信協を目指し、役職員一同頑張っている所存でございます。

皆様方より一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、皆様方のご多幸を心より祈念申し上げます。ご挨拶と致します。



お客様との満足、 共感、喜びを共有

(株)ボルファートとやま

代表取締役社長 宮本 久雄



新年明けましておめでとうございます。

皆様にはご家族お揃いで健やかに輝かしい新年を迎えられたことに心からお喜び申し上げます。

日頃よりボルファートとやまの事業に多大なる御協力と御支援を賜り衷心より感謝と御礼を申し上げます。

富山県労働者福祉事業協会での労福協センターの経営改善では、(株)ボルファートとやまが業務受託会社として円滑な事業遂行が求められており、当社の喫緊課題であります経営改革「売上計画の達成、確実な利益、繰越損失金削減」を実行し、経営の安定化に努めてまいっている所存でございます。

今年も社員一丸となって「勤労者と社会からより一層愛され、親しまれるボルファートとやま」「生涯しあわせ創造に尽くすボルファートとやま」を目指し、お客様の満足向上と感激・感動の共有をモットーに「おもてなしの心」を磨きたいと存じます。

貸室事業では、J R富山駅北に面し各種公共施設が位置する会議での好立地条件を生かして、コンベンショ

ンや各種会議のご指定の取り組みを図ってまいります。宴会事業は、和と洋の融合された独創的な真髓をご堪能いただける料理とおもてなしの心を大事にし、各種宴会は勿論のこと、少人数のグループ宴会、食い初めからの人生の節目節目の各種祝い事の宴でのご利用の取り組みを図ってまいります。

婚礼事業では、英国から100年の伝統と格式のあるセントステファン教会から移築した「チャペル・オブ・ザ・ローズ」での豪華で格式高い挙式と、ご列席の皆様にご満足いただける夢を現実に叶える演出で、新郎新婦の華やかな門出をお手伝いさせていただきます。

法会事業では、葬祭会社との提携から得たノウハウを最大限生かして、当社での年忌法要について一定のご利用をいただいておりますが、さらに御満足のサービスを提供してまいります。

直営店では、安心してご利用いただける御満足プランを御用意し、少人数の宴会や御家族さまの各種記念宴会のご利用を勧めてまいります。また、直営店ならではの旬の食材を活かし趣向を凝らした独自企画商品を御提供し、ボルファートイメージの向上を進めてまいります。

皆様方より一層のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2008年の諸課題に すばやい対応を…

春日温泉観光開発株式会社

代表取締役 鶴木 清人



新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、希望と期待に満ちあふれた2008年の初春を、ご健勝で迎えられましたこと、心から御慶び申し上げます。

昨年中は、多くの皆様方に「ゆ〜とりあ越中」をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、2008年の「ゆ〜とりあ越中」は、①団体客から個人・グループ客への利用形態が進展していること、②宿泊客の減少傾向に歯止めがかからないこと、③少子高齢化時代を迎えていること、④多様化するお客様サービスに応えること等、直面する諸課題に素早く対処し、安定した経営基盤の確立を図ることが求められる年となります。

今、北陸の各温泉地では、個人客、女性客、高齢者層の客をターゲットに、団体客用の部屋を和洋折衷の個人客用に改装、床の段差解消・手すりの取り付け等のバリアフリー対策、あるいは、顧客の好みに合わせ

た食事の提供や食事場所の新設など、創意・工夫を凝らした取り組み等が始まっています。

「ゆ〜とりあ越中」としても、これら各温泉施設等の取り組み状況や諸情勢等を踏まえつつ、個人客・グループ客等の宿泊利用の増加策、女性・高齢者向けの料理メニュー開発、バリアフリー対策などに、取り組まなければならないと考えます。

特に、「ゆ〜とりあ越中」のコア事業である宿泊客の増加策は喫緊の課題であり、リピーター客の囲い込み、インターネットを活用した予約獲得、近隣地域等への訪問営業の強化など、全社員が全力をあげて取り組まなければならないと考えます。

このように、今年も諸課題が山積している「ゆ〜とりあ越中」ではありますが、「勤労者の保養施設」として、今まで以上に愛され、親しまれるよう、全社員が一丸となって取り組みます。

「ゆ〜とりあ越中」は、壺風呂、岩風呂など多彩な露天風呂、四季の食材を使用した美味しい料理、真心のこもったおもてなしと、安心できる施設で皆様方をお待ち申し上げます。

今年も、昨年同様、変わらないご愛顧をお願い申し上げます。

安心して 利用できる施設として

(株)富山北モータープール

代表取締役社長 三辺 進



新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より富山北モータープールの駐車場をご利用いただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

駅北周辺もブルーバール計画に沿って開発され、ライトレールの開通を始め、富岩運河環水公園とゆったりした歩道やシンボルモニュメントを中心に各種イベントも行われ、合わせて新たなオフィスビルの建設も図られて、新しい街に生まれ変わり、新しい賑わいを創りだして来ています。

景気の動向は安定基調と言いながらも、企業の好調さに比べ家計消費は依然として厳しいなかで、原油の高騰に伴い、ガソリンを始め、大豆、小麦粉等一次産品を含めて大きく値上がりし、ますます家庭生活に大きな負担となってきています。経済基盤を支えている

勤労者も雇用構造の変化によって大きく様変わりし、パート、アルバイト、派遣社員の非正社員が急増してきており、深刻な社会問題となって来ております。これらの勤労者の雇用形態に対応した政策も進めていかねばならないと考えています。

当富山北モータープールも今年で13年目を迎えようとしています。これも労働組合の皆様方や「ボルファートとやま」を始め周辺利用者の皆様方のご協力の賜物と考えています。12年を経過し、毎年諸設備の一定の更新を進めてきています。昨年は入退時のゲートをアルミ製の棒から人と車にやさしいグラスファイバー製に取り替えました。今後とも計画的に設備の更新を行い、「安全で、便利で、安心して利用できる駐車場」として努力を重ねていく所存であります。今後ともボルファートとやま等との連携を強化し、会館利用者の皆様方を含めた利用者の期待に応えて行きますので、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年も皆様とご家族にとって素晴らしい年でありまうようご祈念申し上げ、年頭の挨拶とします。

勤労者の福祉ニーズに 積極的に応える

(財)富山県労働福祉基金

理事長 森本富志雄



新年あけましておめでとうございます。

みなさまにおかれましては、ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられたこと慶び申し上げます。

平素より富山県労働福祉基金に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

富山県労働福祉基金は、基金の運用益と富山県及び市町自治体、さらに県内労働福祉事業団体のご協力による財源で「中小企業勤労者や未組織労働者の福祉の向上を図る」付加給付や助成などの事業を積極的に維持しています。

今日、行き過ぎた規制緩和や市場経済万能主義のもとでの弊害は、一段と多くの貧困者を増やし勤労者の生活環境はますます厳しくなっていると言っても過言ではありません。

年金や医療などの社会保障制度は揺らぎ、不安定な雇用構造のもとで先が見えない不安が広がり、勤労者の生涯生活設計は見直しが迫られています。

「団塊世代」の大量退職を導火線とする急激な少子

高齢化社会の進展や人口減少と核家族化の傾向が、富山県においても全国より速いスピードで進展していますことから、地域における福祉サービスに対する需要は増大で、かつ多様化しています。

勤労者のニーズは、子育て支援や介護支援など家庭や地域生活で生じる問題への支援、退職後も含めたトータルな生涯福祉支援など、従来の事業だけでは対応しきれない傾向の広がりを見せています。

限られた財源の中で勤労者福祉のニーズに応えるためにも積極的に対応してまいる所存であります。

今後とも皆様の一層のご指導ご支援を賜りますよう宜しくお願いします。

主な事業

- (1) 県内の宿泊（保養）16箇所施設の利用補助事業
- (2) 海の家（岩瀬浜・永楽荘、千里浜・かもめ）と太閤山ランド「プール広場」利用一部負担補助事業
- (3) 立山山麓スキー場（オールシーズン）リフト券の補助事業
- (4) 「教育ローン、福祉ローン、出産・子育て資金」融資保証料一部助成事業
- (5) 富山県水墨美術館、近代美術館、高岡市万葉歴史館・美術館、富山市郷土博物館・佐藤記念美術館・民俗民芸村、科学文化センター・天文台施設利用補助事業